

①住環境・コミュニティ

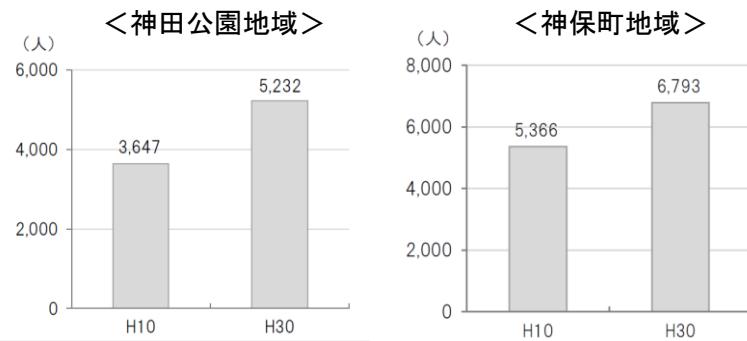
【人口推移（各年1月1日時点）の状況】

■神田公園地域

- ・ 3,647人から5,232人に増 (1.4倍)

■神保町地域

- ・ 5,366人から6,793人に増 (1.3倍)

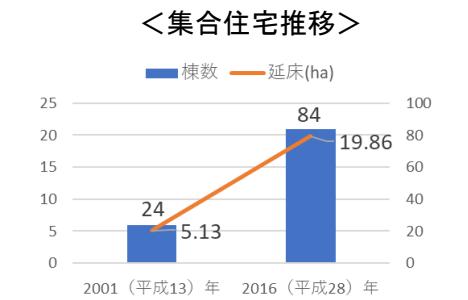


出典:都市づくり白書(H30)、国勢調査(H27)、土地利用現況調査(H28)、住民基本台帳人口(H30)

【集合住宅の推移】

■神田公園地域

- ・ この15年間で24棟から84棟に増 (3.5倍)

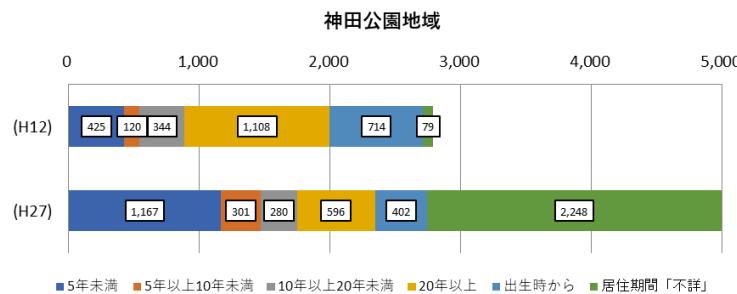


出典:都市づくり白書(H30)

【居住期間の状況 (H12・H27)】

■神田公園地域

- ・ 5年未満は、425人から1,167人に増 (742人増)
- ・ 20年以上は、1,108人から596人に減 (512人減)



■千代田区全域

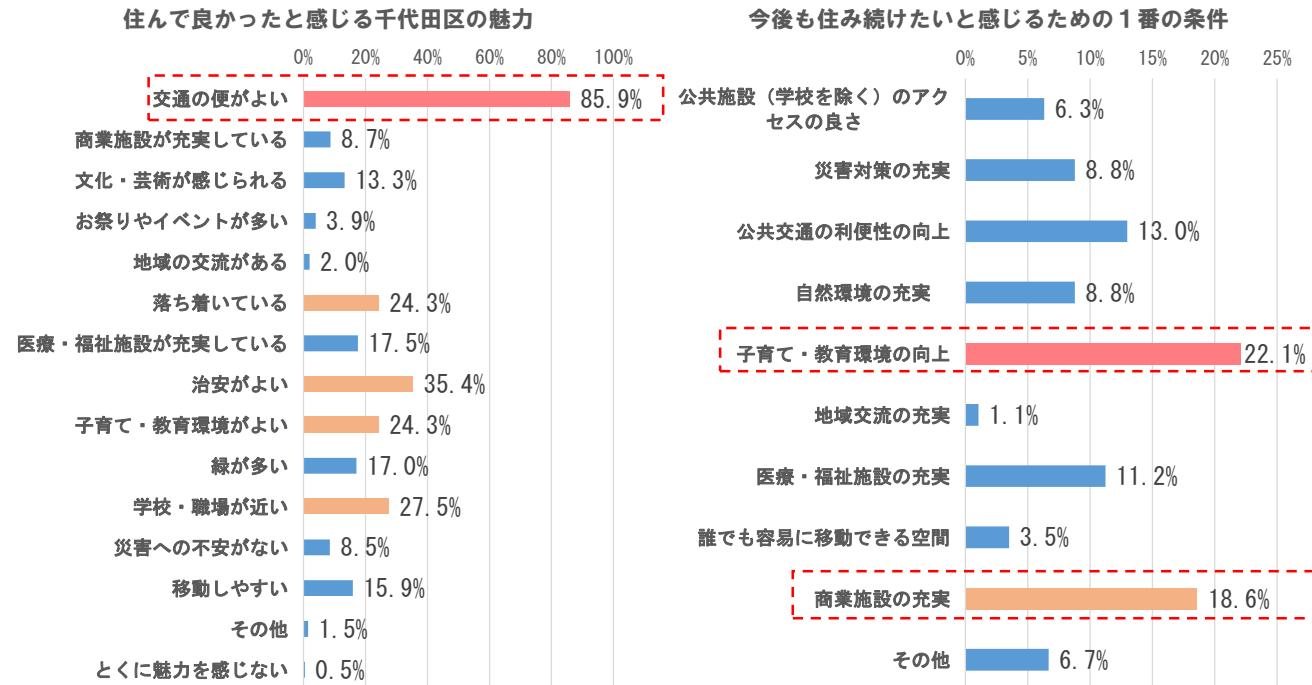
- ・ 5年未満は、13,227人から14,780人に増 (1,553人増)
- ・ 20年以上は、9,624人から5,561人に減 (4,063人減)



出典:国勢調査(H12、H27)

【住環境（千代田区の魅力、住み続けたいと感じる条件）】

- ・ 魅力は交通の便、課題は子育て・教育環境、商業施設の充実



出典:都市づくり白書(H30)

【住環境（生活支援施設）】

- ・ 近年、事務所建物の多くが、集合住宅に建替えられている
- ・ 長く住み続けるために、地域の生活支援施設は足りている？



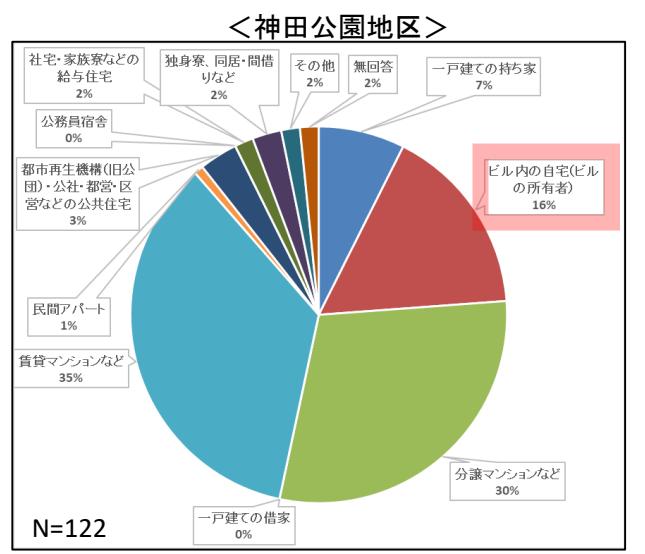
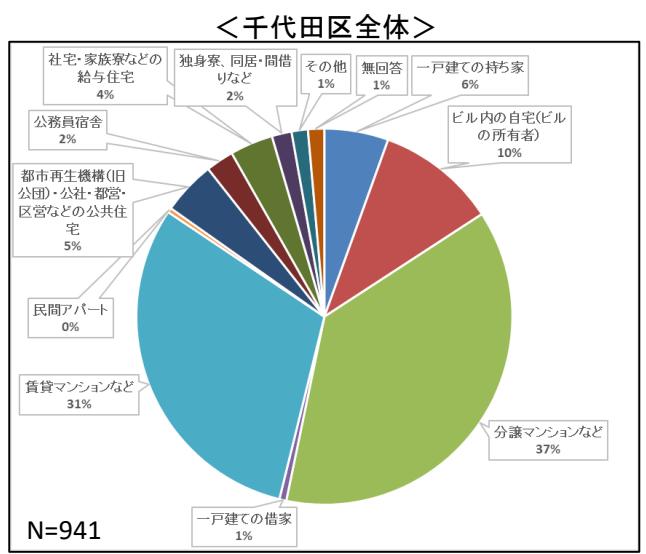
出典:千代田区土地利用現況調査(H28)

（生活支援施設の例）

- ・ 飲食店
- ・ 生活物販店（スーパー、コンビニ等）
- ・ 保育園、子育て支援施設
- ・ 診療所、薬局
- ・ 公園、広場、オープンスペース等
- ・ 駐輪場、自転車シェアリングポート
- ・ 金融機関
- ・ 分煙施設（受動喫煙対策）

【コミュニティ（集合住宅（分譲/賃貸））の居住者傾向】

- 千代田区全体に比べ、神田公園地区はビル内の自宅（ビルの所有者）の割合が高い
- 千代田区全体に比べ、神田公園地区は「ひとり暮らし」の割合が高い
- 分譲は「夫婦と子ども」と「夫婦だけ」の割合が高く、賃貸は「ひとり暮らし」の割合が高い
- 分譲に比べて賃貸は町会加入率が低い、町会・地域活動等の参加状況の、参加もしくは関心があると答えた割合はどちらも半数を超えている



	分譲マンション		賃貸マンション	
	千代田区全体	神田公園地区	千代田区全体	神田公園地区
世帯構成別の居住属性	<p>N=352</p>	<p>N=36</p>	<p>N=287</p>	<p>N=43</p>
町会の加入状況	<p>N=350</p>	<p>N=36</p>	<p>N=287</p>	<p>N=43</p>
町会・地域活動等の参加状況	<p>N=352</p>	<p>N=36</p>	<p>N=287</p>	<p>N=43</p>

出典：千代田区世論調査 (H30)

【祭礼や地域活動の現状】

○祭礼・文化



神田祭り



神田祭り

○歴史を踏まえた活動



鎌倉橋 橋洗い



神田駅100周年

○地域主体の活動



子供縁日



神田技芸祭

【コミュニティ（住民、就業者、来訪者等の新しい交流のきっかけ）】

○まち・通り・ひとをつなげる取組み、機会

神田警察通り賑わい社会実験（公共空間の利活用）

キンキン広場
（宅地を暫定広場化）



こどもの学校(三味線体験)

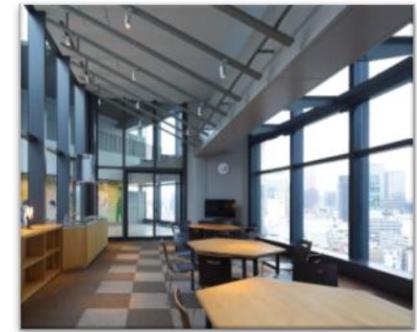


ベンチプロジェクト



もちつき大会

○若者の居住を地域での活躍の場につなげる開発



ワテラスチューデントハウス(入居の条件は地域活動への参加)

＜道路空間の開放+居心地の良い場所づくり（規制緩和の一例）＞

国家戦略道路占用事業適用区域指定（平成27年3月）



丸の内仲通り



行幸通り(地下)

【現状のまとめ】

- ・近年、事務所建物の多くが、集合住宅に建替えられている
- ・集合住宅では単身者や核家族が多く居住、町会加入は少ないものの、地域活動への関心は高い傾向
- ・街なかでは、住民/就業者/来訪者等の新しい交流の場や機会が増えている

【今後の方向性イメージ】

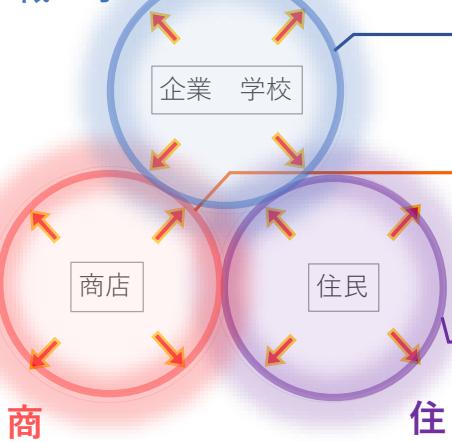
- ・集合住宅の増加や居住属性の変化に見合う生活支援施設の充実、質的向上
- ・住民/滞在者/来街者等も含めたコミュニティのあり方を考える必要あり

“神田らしさ”を継承し、コミュニティの強みを伸ばすためには？

現在の神田

○3つの都市の機能が多様化

職・学



- 多種多様な人材、企業が集積し、街に活力をもたらしている
- 近年の客層の多様化に合わせ、業態の変革やイベント等による周知活動の動きが始まっている
- 神田を訪れる人、滞在する人も増加し、コミュニティを形成する人が多様化し始めている

将来のイメージ

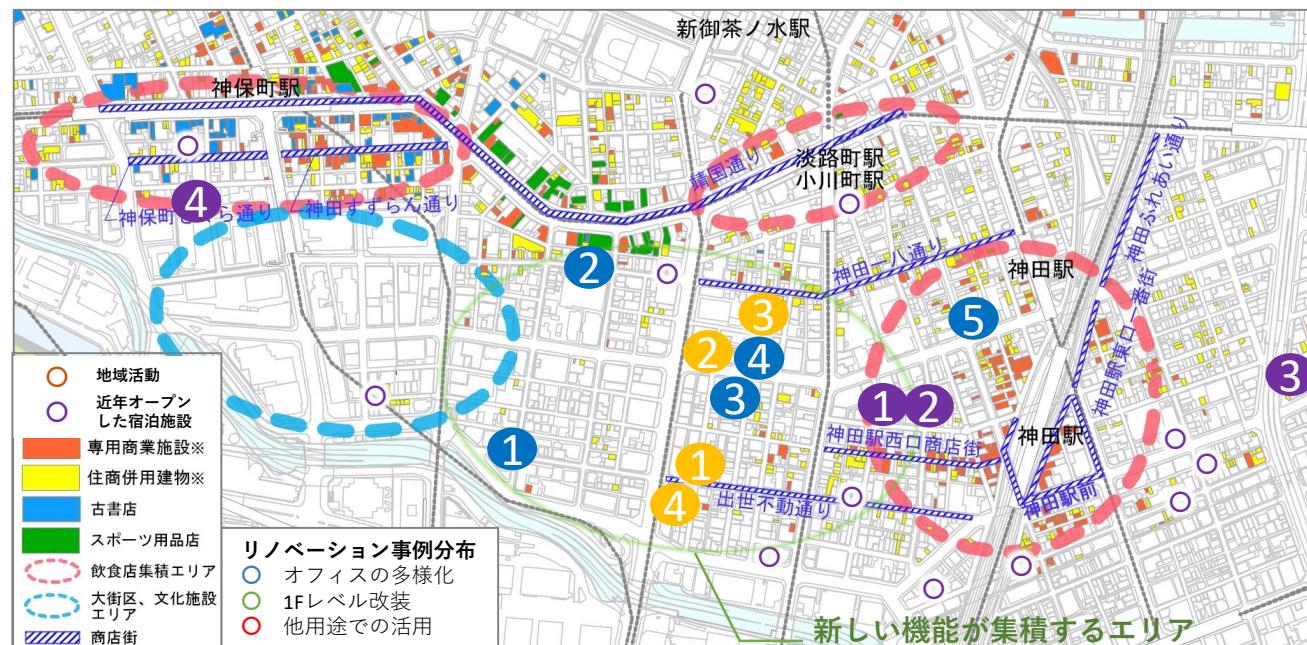
○都市の機能がより密接に結合

職・学



- 多様化してきた3つの都市機能の受け皿となる新たな場や仕組みが提供されることにより、それぞれが再び密接に結合、より多種多様なコミュニティが生まれる
- コミュニティ活動が活発化し、まちへの帰属意識が醸成されることで“神田らしさ”を継承する気運が高まる

(都市機能の多様化の動き)



【住】 神田で働く人や滞在者も含めた新たなコミュニティの場が誕生

1	2	3	4
ストリートピクニック (建築事務所が企画)	ポップストア・カフェ (シェアオフィスが企画)	KIKKA 神田 (バー併設のホステル)	SAKURA HOTEL 神保町 (24時間営業カフェ併設)

【職・学】 働き方の変化に合わせた新たなオフィス利用の場が誕生

1	2	3	4	5
ちよだプラット フォームスクエア (シェアオフィス)	FUSION.N (コワーキング・ シェアオフィス)	神田the c (シェアオフィス ・スペース)	REN BASE (シェアオフィス)	Connect-Lounge 神田 (コワーキング)

【商】 多様な住民に対応した、新たな商業施設が誕生

1	2	3	4
BOULCOM 神田 倉庫→ポルダリング施設	MID STAND TOKYO オフィス→キッチン付きスペース	司3331 オフィス→ギャラリー、レジデンス	ツバキスタイル ショールーム 自社の入ったビルの1階をリノベ